

防水・木床組

1 塗膜防水 ①③

床仕上
養生モルタル
塗膜防水(仕様)
均しモルタル(直押えの場合は省略できる)

2 アスファルト防水 ②

床仕上
押えコンクリート
養生モルタル
アスファルト防水

3 木床組 ④

大引 45×90 @900
根太 40×45 間隔は下表による

仕上厚
(仕上がない場合は60とする)
105
45
45
15

モルタル @600
9φ @1,200

| 種別 | 工法1 | | 工法2 | |
|----------------------------|----------|------|----------|------|
| | 下張り合板の厚さ | 根太間隔 | 下張り合板の厚さ | 根太間隔 |
| 塩ビシート カーペット | 12+5.5 | 360 | 12 | 300 |
| フローリング(12mm) 化粧合板(12mm) | 12 | | 15 | 360 |
| フローリング(15mm) | 12 | | 下張りなし | 300 |
| 縁甲板(15mm以上) | 下張りなし | | 下張りなし | |
| 畳 | 12 | 450 | | |

壁下地

1 LGSスタッド ⑤

遮音を必要とする場合はシールを行う

天井位置

二重張り@450内外
一重張り@300内外

間柱およびランナーの種類

| 部材種別 | スタッド | ランナー | 高さによる適用 |
|------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 65形 | [-65X45X0.8以上] | [-67X40X0.8以上] | 高さ3.7m以下 |
| 90形 | [-90X45X0.8以上] | [-92X40X0.8以上] | 高さ3.7mをこえ4.5m以下 |
| 100形 | [-100X45X0.8以上] | [-102X40X0.8以上] | 高さ4.5mをこえ5m以下 |

2 木下地

たて胴縁 20×40@450内外
よこ胴縁 20×40@450以内 (壁高1,200までは@300以内)

木れんが 20×40×120 (合成樹脂接着剤)

仕上厚 25~30

3 木製柱

ボルト9φ @900~1,200

50
75
45×90

H=2,700以内
H=3,600以内

胴縁 20×40 @450内外

ボルト9φ @900~1,200

天井下地

1 LGS下地

野縁受(L形) 38×12×12

吊りボルト 9φ @900

野縁 シングル野縁 25×19×0.5 (22)
ダブル野縁 50×19×0.5 (22)

仕上厚 38

野縁間隔

| 上張りの種類 | 野縁間隔 | |
|----------------|------------------------|-------|
| ボード類で下地張りのある場合 | 360内外 | |
| 下地張りのない場合 | 標準 (ボード寸法 900×1,800程度) | 300内外 |
| | 特殊 (ボード寸法 450×900程度) | 450内外 |
| 金属成型板 | 450内外 | |

2 木下地

野縁受 45×45 @900

吊木 40×40 @900

野縁 40×45 @450

仕上厚 40

野縁受 45×45 @900

吊木 40×40 @900

野縁 40×45 @450

板野縁 18×45

仕上厚 40

① 水洗いを行わない室で、軽微な防水をする場合に使用する。

② 水洗いを行う室に使用する。

③ 養生モルタル又は押えコンクリートの上に仕上を行う場合の仕上厚はタイル5mm、モルタル仕上は10mm少なくできる。

④ 床仕上代は引寸法(45×90, 90×90等)により決定する。床下の湿気の多い場合は、大引、根太、合板裏面に防腐剤を塗布し、換気孔の設置を考慮する。

⑤ 遮音が要求される場合は、要求性能によりボード厚、工法(取付、ボード隙間充填、スタッド内吸音材充填等)を検討する。